

上間ゆかりさんの感想

昨日は「琉球美、造形研究会」の紅型衣裳見学会に参加させて頂き、ありがとうございました。

紅型の技術的な事については専門外なのでわからない事が多くありますが、今回の衣裳をガラス越しではなく間近に見れたことで、布の質感や細かい点状で表現された紅型の文様や色使いなど知ることが出来、有意義な時間となりました。

私は織手の立場から参加させて頂き、閲覧衣裳と私が携わった再興事業で制作した綿布を経験を通してわかった点は、密度と糸質(糸の太さも)の違いでしょうか。

閲覧衣裳は、触れずとも布のしなやかさを感じられ、拡大して見た糸はふっくらした印象でした。

この衣裳が琉球で制作されていたのであれば、時代的に地機で織られたのかと思われるので、現在主に使用している高機に比べ、地機は経糸の張力がかかり過ぎずふっくらとしなやかな布が織れるのでは、と思いましたが、私に地機の経験が無いため比較した感想がお伝えできず残念に思います。

改めて、今回の見学会にお声がけ下さり、貴重な衣裳を閲覧する機会を持てたことに感謝します。どうもありがとうございました。